※令和４年度以降入学生用

学校番号	１００５

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	（学）色彩構成	単位数	２単位	年次	２，３年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

色彩に関する基本的な学習内容を深め、授業で美術に関する幅広い知識を学び、技能を身に付けることで、基本に即した表現力と感性を磨きましょう。

２　学習の到達目標

美術Ⅰで学習した色彩や平面構成に対する基本的な学習内容を踏まえ､イメージ表現やモチーフ構成などの作品制作を通して色彩に関して確かな表現力や感性を次のとおり育成することを目指す。
(1)　対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに，意図に応じて色彩の視点からも表現方法を創意工夫し，創造的に表すことができるようにする。
(2)　もののよさや美しさ，表現の意図と創意工夫，美術の働きなどについて考え，主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり,価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
(3)　主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み，生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに，感性を高め，美術文化に親しみ，心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。 ・意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	もののよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、思いや願いなどから心豊かに発想し構想を練ったり、価値意識をもってものに対する見方や感じ方を深めたりしている。	主体的に幅広い創作活動に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	色彩理論	ワークブックの内容に沿って、色相環や画面構成、色の対比について理解を深める	a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。（知識） b:モチーフの特徴や美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。（発想や構想） c: 主体的に創造活動に取り組み、新たな気づきや視点を表現に組み入れながら活動に取り組もうとしている。（鑑賞）	制作作品	制作作品	ワークブック
	色彩構成1	言葉や、文字、数字などをテーマに画面構成する	a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。（知識） b:モチーフの特徴や美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。（発想や構想） c: 主体的に創造活動に取り組み、新たな気づきや視点を表現に組み入れながら活動に取り組もうとしている。（鑑賞）	制作作品	制作作品	制作作品
2学期	色彩構成2	モチーフ構成 文房具をもとに画面構成する	a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。（知識） b:モチーフの特徴や美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。（発想や構想） c: 主体的に創造活動に取り組み、新たな気づきや視点を表現に組み入れながら活動に取り組もうとしている。（鑑賞）	制作作品	制作作品	制作作品

※令和４年度以降入学生用

	色彩構成3	モチーフ構成 野菜や果物をもとに画面構成する	a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。（知識） b:モチーフの特徴や美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。（発想や構想） c: 主体的に創造活動に取り組み、新たな気づきや視点を表現に組み入れながら活動に取り組もうとしている。（鑑賞）	制作作品	制作作品	制作作品
3学期	色彩構成4	モチーフ構成 野菜や果物をもとに画面構成する	a:対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めている。（知識） b:モチーフの特徴や美しさを感じ取り、創造的な表現の工夫などについて考え、見方や感じ方を深めている。（発想や構想） c: 主体的に創造活動に取り組み、新たな気づきや視点を表現に組み入れながら活動に取り組もうとしている。（鑑賞）	制作作品	制作作品	制作作品

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度